

事業名	アマノリ養殖概況
予算区分	水産研究費（県単）
事業実施期間	平成12年度～
担当者	（環境増養殖担当）岡本裕太
共同研究機関等	

<目的>

本県のアマノリ養殖業の生産状況を把握する。

<方法>

漁業者から生産状況について聞き取り調査を行うとともに、徳島県漁業協同組合連合会における共同販売実績を整理した。

<結果>

例年どおり育苗～本養殖が開始されたが、秋芽網の生産は不調であった。本養殖開始から1月末まで藻体が伸びず、県内で開催された初回の共同販売は2月となった。

県北漁場では、3月以降に色落ちが発生。その後、降雨等による栄養塩濃度の上昇に併せて色調の回復がみられた。

県南漁場においても、同様に色落ちが発生。栄養塩濃度は漁期終了時まで低位で推移し、色調の回復がみられなかった。

令和6年度漁期の生産枚数は26,434千枚で、前年比106%と僅かに増加した。前年度漁期同様、主要産地の有明海が不作であったことを受け、平均単価は18.6円/枚（前年比97%）と高止まりした。

<今後の課題>

得られたデータから不作原因を推定し、養殖指導の材料とする必要がある。

<次年度の計画>

引き続き、生産状況の把握に努める。

<結果の発表・活用状況等>

特になし。

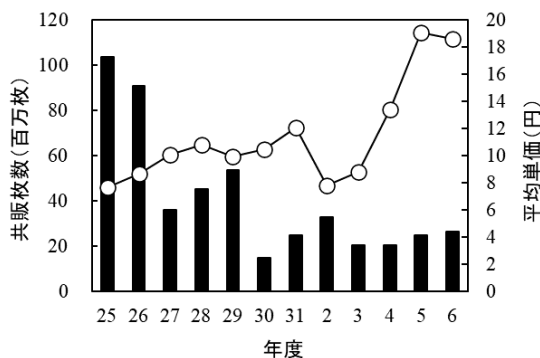


図1.年度別共販枚数と平均単価の推移

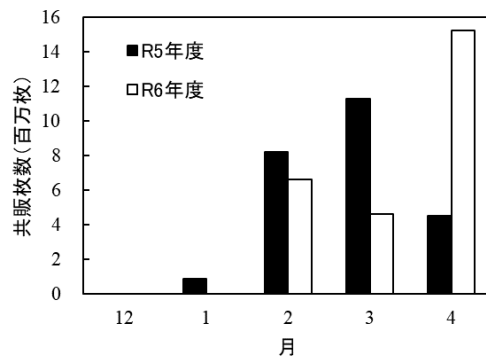


図2.共販枚数の経月変化